



# ほたるの森から

第4号 (2022年6月号) 編集/発行 守山市ほたるの森資料館



早期誕生のホタル(3/4)



資料館羽化第1号のメスホタル(5/5)

## 最新情報

2022年度4月、2年間資料館館長を務められた真田善之さんに代わり、新館長に古川道夫さんが、副館長に加村賀勇さんが、就任しました。

3月4日、恒温水槽飼育の結果、ゲンジボタルのメス1頭が、続いて2頭が3か月も早期に羽化し、テレビ・新聞で取り上げられ話題となりました。

5月5日、通常飼育での羽化第1号のメスが、展示室ビオトープ水槽で誕生しました。その後、JNC 守山工場より提供いただいたオスとカップリングに成功、5月10日には水槽内の苔の上に産卵しました。

昨年より製作してきました資料館設立30周年記念DVDが完成。研修や講座でご利用いただけます。貸出・視聴はお申し出ください。

5月22日(日)~29日(日)に守山パーク&ウオークが3年ぶりに開催されました。



## # 古川館長のつぶやき



今年、ほたる河川でのゲンジボタル羽化の初見日は5月7日となり、過去11年で最も早くなりました。昨年より1週間ほど早く羽化が始まっています。これを2017年と比べると11日早くなっていますし、さらに2012年と比べると13日早くなっています、この10年間で10日ほど早くなっていることがわかります。

上陸した幼虫が蛹になって地上に出るまでの気温(地温)が羽化にかかる時間に影響しますので、地球温暖化との関係を指摘するのは簡単ですが、その検証は我々資料館の業務としては手に余るむずかしい仕事であると感じます。

## データでみる

### ほたる河川のホタルたち

	放流数	飛翔数
2018年度	2121	1589
2019年度	2430	3084
2020年度	3184	3811
2021年度	3753	4724
2022年度	2923	予想 (3600)

2021年度は5190頭の終齢幼虫を育てることができましたが、今年は市内河川への放流を重視したために、資料館河川への放流は昨年より少ない2923頭となりました。

例年、飛翔数は放流数の18%が羽化して、その成虫は7日間飛翔するような結果になっています。(表の飛翔数は累計数) よって、今年の放流数2923頭から、飛翔数は3600頭になると予想できます。この数を大幅に超えた結果がえられれば、資料館の人工河川でもゲンジボタルの自生が進んでいると判断できます。さて、結果は? ワクワクしています。(5/20) Y.K

## ◎ 親子環境学習会 夏編

申込は資料館へ

## ◎ 2022年 ホタル講座

親子で楽しく外来生物について学び、資料館のほたる河川でホタルの天敵ザリガニを駆除します。

日時: 7月24日(日) 9:30~12:00 (受付:9:00) 雨天決行

場所: 守山市体育館会議室・資料館・ほたる河川

内容: ①お話「外来生物って、何?」

講師: 中井克樹さん(琵琶湖博物館専門学芸員)

②お話「ほたるとザリガニ」

③ザリガニ釣り大会(賞品もあります)

対象: 5才以上の子どもと保護者

定員: 親子10組 (先着順)

参加費: 1組 1000円(保険代も含む)



## 参加募集中

ゲンジボタルの飼育と生態を学び、河川環境を考えましょう。

日程: 7/2(土), 8/6(土), 9/10(土), 10/8(土), 11/5(土), 12/3(土), 2/11(土) 各日とも13:00~15:00  
3月下旬の雨の夜 20:00~21:30【全8回】

場所: ほたるの森資料館とほたる河川

対象: 守山内在住・在勤・通学の18歳以上の方

定員: 先着10名 (期間内、中途参加も可能)

参加費: 3,000円 (テキスト代含む)

◎みんなのほたる文庫 開催 \*貸出も可。

期間: 7月16日(土)~8月7日(日) 場所: 資料館展示室